

7 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

- 所長の横村でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故から 3 年と 4 ヶ月が経とうとしておりますが、今もなお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご心配とご迷惑をおかけし続けておりますことを、あらためて心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは 2 点お話しさせていただきます。
- まずは、発電所の安全対策への取組状況についてです。
フィルタベント設備に関しては、6 号機において、現在本体の性能確認を進めているところです。内容としては、耐圧試験、弁の作動試験、通気試験の 3 項目を実施することとしており、来週最終の試験となる通気試験を実施いたします。この性能確認終了後には、引き続き、予備の伸縮継ぎ手の手配や周辺工事を進めてまいります。

また、津波発生時の監視強化を図るため、7 号機の排気筒上部に設置を進めておりました津波監視用のカメラにつきましては、今月中に工事を完了する見通しです。今後は、更なる監視機能の多重化と緊急時における発電所内での活動状況の把握を目的として、1～4 号機側にも津波監視用カメラの設置を進めてまいります。
- その他、内部溢水の防止対策や火災防護対策など、必要な対策工事を引き続き着実に実施してまいります。
- 次に、発電所敷地内外で実施しております地質調査の状況についてです。
ボーリングについては、発電所敷地内の現場作業は終了し、敷地外の作業も鋭意進めており、全体の約 8 割程度の進捗となっております。また、敷地内の立坑のうち作業工法を検討しておりました 1～4 号機側の 1 箇所につきましては、昨日より掘削の作業を開始しました。

敷地外の地下探査につきましては、計画していた4測線のうち3測線は現地の作業を終了し、残りの1測線についても、今月末には現地の作業を終了できる見通しです。

引き続き調査状況を踏まえ、十分なデータが得られるように柔軟に対応していくとともに、今後、評価が取りまとまった段階で原子力規制委員会へご報告、ご説明をしてみたいと考えております。

○ 本日、私からは以上です。

以 上